

「社員」
今日も一日仕事終わった！
と会社を出て駐車場へ歩く。
ふと空を見上げると星がきれい
に輝いていた。やっぱり冬なん
だなあと。
そういえば先日、ある職員さ
んが「師も走る、一二月です
ね。」と言っていました。



調べると諸説ありますが、有名
な話は「師匠の僧侶がお経をあ
げるために東西を馳せる月」
とする、師馳す（しはす）とあ
りました。
そうか、みんな一二月は忙し
いんだ。私はやっぱり夜空を
見上げ、もうすぐ見れるであろ
う。「ふたご座流星群」を心待
ちにしています。



年が明ければ「しぶんぎ座流
星群」が待っている。夜空も
大忙しですね。
防寒対策をしつかりして流れ
星見ながら願い事をしてみよ
うかなと思っています。

今回施設の入居は初めてで、
入居するまで周りの人から、「二
回はいると簡単にいれるのやけ
ん、ちゃんとええところ探さん
といかんよ。いじめもあつた
りするよ。」と言われ不安しかあ
りませんでした。ケアマネさ
んがココを見つけていただき、
みんな良い人ばかりで、「デイも
楽しいし、拡声器があれば、「良
かったよ。」と叫びたいくらい
ですw。



車いすを自走し、自分なりの
目標をたて、日々頑張つてま
す。数か月後、家の近くの「ゆ
ゆう市坪」に移る予定です
が、今は、離れたくない気持ち
と住み慣れた地域に戻る喜び
の両方の気持ちでいっぱい
です。わたしは本当に幸せです。

令和五年十一月二三日の勤労
感謝の日に、第五回よるこび祭
りを開催しました。



感染対策も第五類に移行した
為、今回は数年ぶりに家族様も
ご招待して対面での開催とな
り、ありがたいことにご家族様
やボランティアの方も含めると
総勢約六〇名ほどの来客があ
りました。

七草粥 春の七草
皆さんは春の七草をご存知ですか？
「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・
ホトケノザ・スズナ・スズシロ」でスズ
ナとスズシロ以外は雑草なので、普段口
にすることはありませんが、七草粥には
かならず入ります。
さて、その中の「ホトケノザ」はご存
知でしょうか。多くの人が写真の花
をホトケノザと呼んでいます。これと
は全く違う「コオニタビラコ」(写真下)
というキク科の植物です。
現在はスーパーでセットになった物
やドライフーズも販売されているのと
衛生面も考えると、道端で採集するこ
うことはしませんが、岡本信人さん
くらの知識がないと危険ですね。
さて、レシピは簡単ですが、紹介さ
れているサイトのQRコードを記載し
ておきます。

春の七草

現場で気づいた大事な事 住んで民家
運営懇談会も併せて行った為、
施設の運営状況など情報の共有
もできたと思います。そして、
数年ぶりのお祭りでは、屋台メ
ニューに芋炊き、よさこい、子
供太鼓と盛りだくさんの内容を
入居者様と家族様にお届けでき
たかなと思います。



今後は家族様や他施設の方も
参加できるイベントを定期的に
開催予定なので、参加の程お待ち
しております

住んで民家近見がオーブンし
てから、年が明けると四年目にな
ります。三年の間で何人の方の
最期に立ち会い、見送ってきたの
かな。つて年の瀬の今、思い
返しています。

コロナ禍で病院よりサ高住で
の看取りを希望する家族が多か
ったと思います。息を引き取る
その瞬間まで家族と一緒に過ご
され一筋の涙を流し、ゆつくりと
目を閉じ大きく息をした後、息を
引き取る方。心臓が止まるその
時まで家族とお話をする方。息
子さんか県外にいらつしやるた
め電話で話した後、眠るように息
を引き取られる方。様々な最期
を共に 過ごす事が出来ました。

看取りになり、最期の日まで家
族の方とたくさんお話をしてい
たので、葬儀後には家族の方から
「たくさん話が出来たので良か
った」「数日一緒に過ごし話もた
くさんできたので葬儀の時、誰も
泣くことなく笑って見送ること
が出来ました」「家では母を見る
事が出来ないが、サ高住で最期の
時を一緒に過ごす事が出来て良
かった」と言っていた。度々、看
取りをして良かったと思います。

もつと出来る
ことがあったか
もと思うことも
ありますが、職
員が一生懸命そ
の方のお世話を
する姿や返事が
できない方にも
笑顔や絶やさず
話しかけている
姿を目にすると
頭が下がります。



親の死を受け入れるまで、ご家
族はたくさん心の葛藤がある
と思います。一緒にお話をし、
時には一緒に涙を流し、少しずつ
親の死を受け入れていく過程も
見てきました。
これからも看取りを行い、ご本
人ご家族に寄り添った支援を続
けて行きたいです。

あけましておめでとうございます
昨年は十二月になると冬らしい
日も増えてきて、南予では積雪
による交通の麻痺も起こりまし
た。東中予の皆さん!!南予つ
て実は雪国なんよw

そして今年、竜・龍年です
が、十二支の中で唯一空想上の
生き物です。著名人では、坂
本龍馬・豊臣秀吉・石田三成な
どが辰年生まれだそうです。
さて、管理者用のスマホ交換
がありました。古いスマホは
一月以降随時初期化されて、中
のデータも全て消えます。ス
マホは新しくなりましたが、セ
キュリティ対策のため、これま
で同様自由にアプリを入れた
り、撮った写真のデータを取り
出したり出来ません。新聞投
稿のための写真はデジカメでの
撮影をおすすめします。

新聞は紙面のスペースに限界
があります。掲載できなかつ
た投稿は翌月かwebにてご紹
介させて頂きたいと思えます。
本年も どうぞよろしく
お願い致します。

おくづけ
発行 株式会社悠遊社
編集 広報担当
連絡先 愛媛県松山市余戸南
二、二四、三十八
電話 〇八九九六五一九九〇
連絡先 koho@vivyusya.co.jp
配布 令和五年毎月一日